

番組

仕舞「羽衣」
天 人 玉 井 博 祐
地 謡 佐 藤 耕 司
辰 巳 大二郎
辰 巳 和 磨

舞囃子「放下僧」
牧野小次郎の兄
笛
小 鼓
大 鼓
地 謡
内 藤 飛 能
大 野 誠
後 藤 嘉津幸
河 村 裕一郎
和 久 莊太郎
辰 巳 大二郎
辰 巳 和 磨

狂言「雷」
雷 井 上 蒼 大
薬 師 井 上 松次郎

能「巴」
前 里女
後 巴
旅 僧
旅 僧
所の者
笛
小 鼓
大 鼓
後 見
地 謡
辰 巳 満次郎
飯 富 雅 介
橋 本 宰
井 上 松次郎
大 野 誠
後 藤 嘉津幸
河 村 裕一郎
辰 巳 大二郎
辰 巳 和 磨
佐 藤 耕 司
和 久 莊太郎
内 藤 飛 能
石 森 智 幸
片 桐 真
清 水 達 郎
中 村 成 利

仕舞「羽衣」について

所は三保の松原。松に掛かった美しい薄衣を見つけた漁師白龍は、その芳香に心奪われ家の宝にしようとするところに天女が現れ、私の物だから返してと頼みます。返す返さないの問答の内にそれが無いと天上に帰れないと悲しむ姿に白龍は折れ羽衣を返します。喜びに衣をまとい天女は舞を舞いながら、うらかな春の景色にまぎれて天上へと帰っていきました。

舞囃子「放下僧」について

父の仇利根信教を討ちたいと血気にはやる牧野小次郎は兄を説得、二人は当時流行していた大道芸放下に身をやつし敵に出会えるのを待ちます。ある時、夢見悪しき利根信教は瀬戸の三島に参詣し、慰みに放下僧を呼んだのがくしくも牧野兄弟。禅問答をしたり羯鼓を打ち又小歌と芸の数々は信教の油断を誘い、二人は本懐を遂げることが出来たのでした。芸尽くしのこの曲の見どころです。

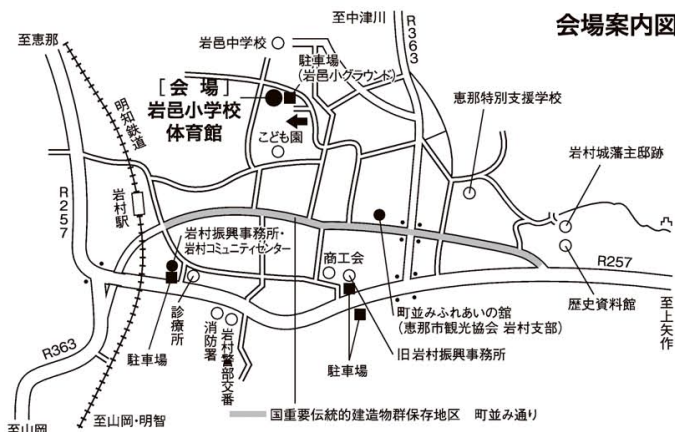
狂言「雷」について

都落ちし生活の拠点を移そうとする薬師の目の前に、雷が落ちてくる。したたかに腰を打ちつけた雷は薬師と聞いて治療を頼む。薬師が大きな針を取り出し治療を試みると、雷は七転八倒して痛がるが、持病まで治ってしまう。

能「巴」について

木曾の僧が琵琶湖畔粟津ヶ原というところに差し掛かります。そこに松蔭に祀られた神の前で涙を流している女がいます。理由を尋ねると女は古歌を引き、神前で涙を流すのは不思議なことではないと述べ、僧が木曾の出だと知るや、粟津ヶ原の祭神は木曾義仲であると教えて供養を勧めます。そして、自分がある人物の幽霊であることを明かし消えてしまいます。僧はお参りにきた近在の里の人(所の者)から、義仲と巴の物語を聞き出し、先の女の幽霊が巴だと確信を深めます。その夜、僧が経を読み申っていると、先ほどの女が武者姿で現れます。女は巴御前の霊であることを知らせ、主君の義仲と死を共にすることが許されなかったのが心残りだと訴えます。そして義仲への最後の奉公として果敢に戦った粟津ヶ原での合戦の様子を再現してみせ、執心からの救済を願うのでした。

会場案内図



お問合せ先

町並みふれあいの館内(恵那市観光協会 岩村支部)

いわむら城址薪能実行委員会

電話 0573<43>3231

〈JR利用の場合〉 名古屋 ― 快速約60分 ― 恵那 ― 約30分 ― 岩村 ― 徒歩約7分 ― 会場
中央西線 明知鉄道

〈マイカーの場合〉 名古屋I.C. ― 約40分 ― 恵那I.C. ― 約15分 ― 岩村町(会場)
中央自動車道 国道257号線

- 駐車場/岩邑小学校グラウンド(係員の指示に従ってください)、旧岩村振興事務所、岩村振興事務所・岩村コミュニティセンター
- 岩村町内は一方通行が多いので注意してください。 ● 座布団、上着等をご持参ください。